

**● 漁況情報**

- 8 月下旬、相模湾西湘地域の定置網ではワカシが豊漁です。ワカシはブリの若魚（0 歳魚）で例年相模湾では 6 月から 9 月にかけて多く漁獲されます。今年は 8 月時点で昨年約 5 倍の漁獲となっており、今後イナダ、ワラサと成長して湾内に留まっていれば、ブリの大漁となることが期待されます。

**● 浜の話題**

- 8 月 17 日、上宮田漁協は平成 29 年度第一回上宮田地区地域水産業再生委員会を開催し、平成 28 年度の活動結果報告と平成 29 年度の活動計画についての検討を行いました。平成 28 年度は、ナマコ増殖等を目的として魚礁を設置しました。設置後に水産技術センターが実施した潜水調査で、魚礁及びその周辺でマナコ、カワハギ、サザエなどの生息が確認され、漁業者は今後さらに生物が増えてくれる事を期待していました。平成 29 年度は船揚げ場の漂砂対策に力を入れていきたいとのことです。
- 8 月 18 日、しらす協議会杉山会長の丸八丸さんの加工・直売所に、二宮中学校の生徒が体験学習に訪れました。その日は 100 kg のしらすの漁があり、参加した生徒は、釜揚げしらすの加工を体験し、とれたての生しらすや釜揚げしらすを味わったそうです。体験学習に参加した生徒に感想を聞いたところ、とれたてのしらすがとてもおいしかったのと、将来漁師になることも考えたいと話していました。



釜揚げしらすの加工体験の様相

- 8 月 22 日、神奈川県漁業士会は、平成 29 年度第三回役員会を横浜市西区のかながわ県民センターで開催しました。9 月 26、27 日に横浜市内で実施される平成 29 年度関東・東海ブロック漁業士研修会（今年度は神奈川県が当番県）の内容等について、活発に議論が行われました。
- 8 月 22 日、藤沢市漁協は辻堂海岸で「漁師の学校」を開催しました。当日は藤沢市が公募した地元市民 160 名が参加し、地曳網漁やシラスの釜揚げと畳いわし造りを体験し、藤沢の海と漁業への理解を深めたそうです。
- 8 月下旬、平塚市漁協にテレビや地域情報誌の取材がありました。地元の貝桁びき網漁で獲れるナガラミ（ダンベイキサゴ）については、「タウンニュース（平塚版）」に掲載されたそうです。また、「平塚地産地消食育研究会」で作っている「さばとろめん」については、9 月 3 日テレビ朝日「相葉マナブ」の「マナブ！なるほどレシピベストテン サバ編」で紹介され

たそうです。

タウンニュース（平塚版）

<http://www.townnews.co.jp/0605/i/2017/08/31/396708.html>

- 江の島片瀬漁協は藤沢市の支援を受けて、種苗放流を実施しました。8月25日に同漁協所属新将丸さんでカサゴ（体長5～6cm）9,400尾、8月31日に同漁協組合長のでいとう丸さんでマダイ（体長7～8cm）1,450尾を放流しました。当日放流した種苗は（公財）栽培漁業協会が用意したもので、元気よく泳いでいったそうです。漁業者は漁業や遊漁の対象となるのを楽しみにしています。
- 8月29日、平塚市漁協は同漁協の朝どれ地魚を直売しているJAあさつゆ広場との共同企画で、一般の消費者の方に定置網漁業の生産現場を知ってもらうため、定置網漁を船上から見学する「タマちゃんの地どれ魚キャンペーン」を開催しました。当日は、抽選で選出された6組12名の方々と東海大学湘南校舎の学生が参加しました。参加者はダイナミックな定置網の網締め作業に驚くと共に、地魚の生産現場や漁業者の鮮度管理の取組等について理解を深めたそうです。